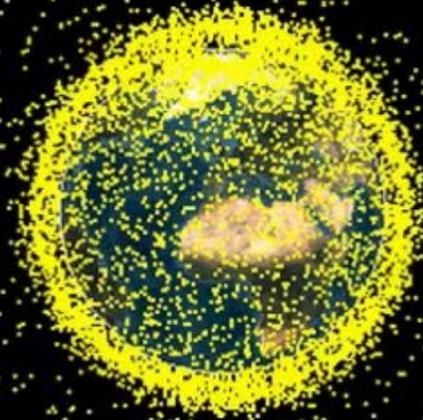


宇宙開発を“持続可能”にする研究をしませんか？

近年宇宙開発利用が活発化していますが、長期持続性の課題がまだまだたくさんあり、次世代まで宇宙を安全に使い続けるための研究が必要とされています。あなたのアイデアが未来の宇宙を救うかもしれません・・・！

- **スペースデブリ(宇宙ゴミ)問題:**
宇宙版“環境問題”。国際的・学際的な研究フロンティア
- **宇宙状況把握・現象解明:**
微小デブリ環境、発生メカニズム、地上への影響等、まだよくわかっていないことが多数あり
- **新規宇宙システムのデブリ低減対策:**
宇宙太陽発電衛星や超小型衛星、月探査のデブリ対策等、新しい宇宙システム実現のための技術
- **デブリ除去・軌道上サービス:**
効率的なデブリ“掃除”、微小デブリ除去、静止軌道デブリ除去、再利用等も
- **宇宙交通管理:**
大規模コンステレーションや巨大データセンター等の軌道安全、国際ルール
- **ダイナミクス・軌道力学:**
テザー衛星、膜面衛星等の軌道上ダイナミクス・制御

等等・・・研究テーマはたくさんあります！



研究室構想

- 国際機関間スペースデブリ調整会議(IADC)やNASA、ESA等のデブリ会議のプログラム委員等を通じて培った国際連携、他領域・専門家との連携、JAXAや他大学等との共同研究も計画
- これまでの実証プロジェクトへの参加、プロジェクト支援等の経験を活かし、現実に役に立つ研究を目指す
- 過去に受け入れた様々な大学の研修生は数値シミュレーションや実験等で、国内外の学会で受賞実績あり、卒業後は宇宙開発メーカー・運用会社・JAXA等で活躍中
- 経験や知識がなくても新たな課題に対する興味、挑戦する気持ちがあれば歓迎します！

河本聡美(教授)

- 2026.3まで宇宙航空研究開発機構(JAXA) 研究領域主幹
- 国際宇宙航行アカデミー(International Academy of Astronautics) 正会員

